

令和3年度 療育児募集説明会

こども発達支援センターSun

今日の予定

- 事業の概要について
- Sunの療育について
- 質疑応答 (FAX、お電話にてお願いします)

☆療育室の見学会は、

平日16:30~17:30

または 土曜日16:00~17:30

実施しています。

こども発達支援センターSunとは

- 発達障がい療育事業を実施する事業所
- 個別の療育プログラムに基づいた支援を実施

療育の対象者

- ・ 南河内9市町村に在住
- ・ 概ね2歳～小学2年生まで
- ・ 医療機関等で自閉スペクトラム症等の診断受けた児童と保護者
- ・ 発達のサポートが必要な児童とその保護者（医師等の意見書等が必要）
- ・ 1年間継続して療育と保護者研修に通える方

募集から通所決定まで

- 募集期間(利用申込書)

令和2年12月7日～1月19日(必着)

郵送もしくは、直接Sunへお持ちください

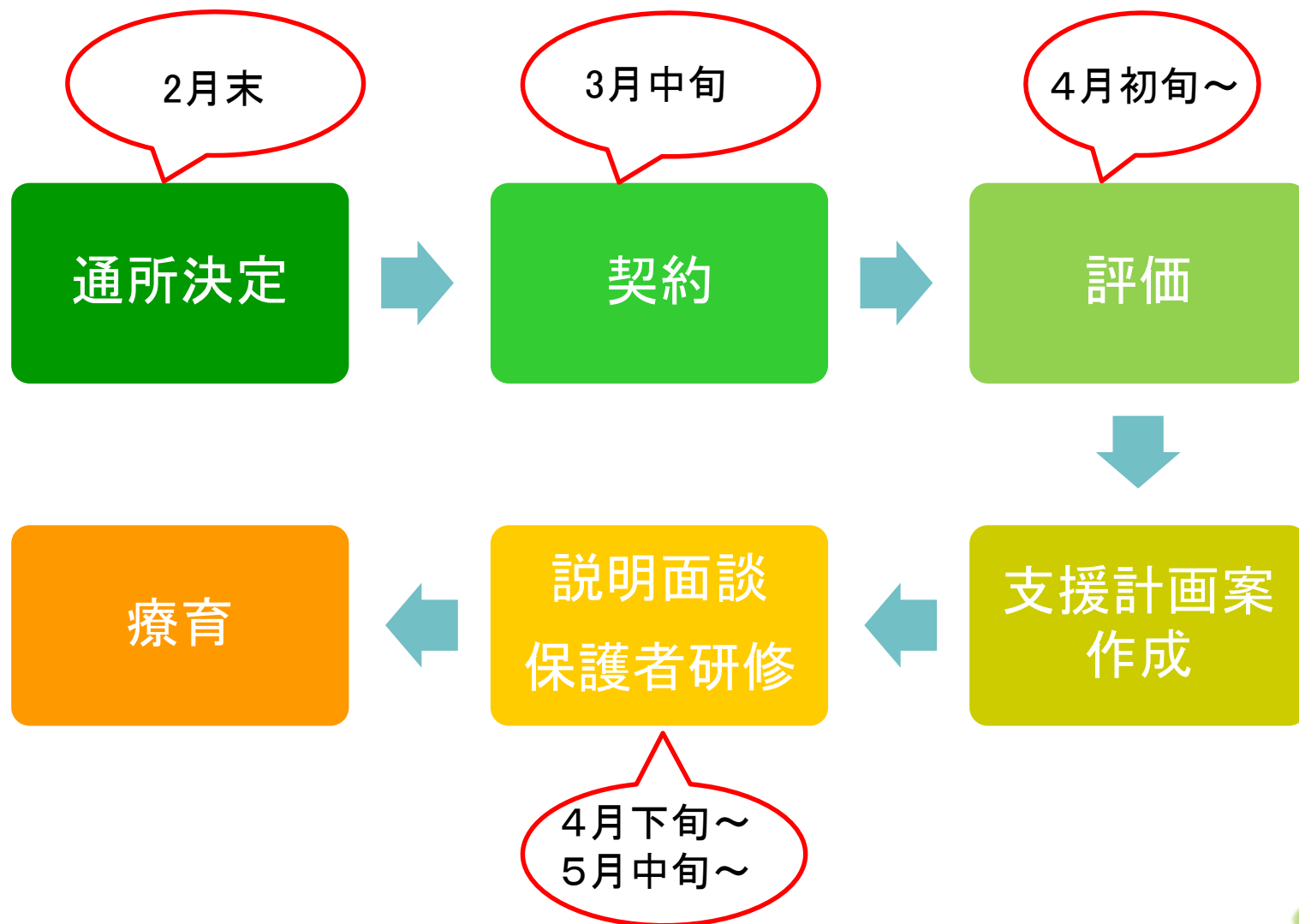
- 選考方法

原則として初めて療育を受けられる方を優先とし、応募者多数の場合は抽選

- 結果通知

令和3年1月31日発送予定

通所決定から療育まで



利用について

- 利用決定後、担当課もしくは所管課で児童発達支援（もしくは放課後等デイサービス）利用のための受給者証の申請が必要です
- 児童発達支援センター（通園施設）及び児童発達支援事業所又は、放課後等デイサービス事業所をご利用の方は、同一日のサービス利用はできませんので、予めご了承ください

利用料について

- 児童発達支援(又は放課後等デイサービス)利用について国が定める利用者負担額を徴収させていただきます(利用料は、利用決定後にお知らせします)


(1回の利用につき)

幼児は1100円程度(*3歳児以上無償化対象)

学齢児は950円~1100円程度

※学齢児は平日の利用と、夏休み(冬休み)などの利用では負担額が異なります。

- プログラムの内容によっては、実費を徴収させていただきます



発達障がい療育事業

Sunの療育について



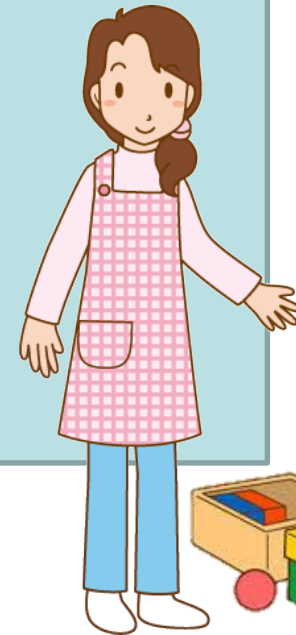
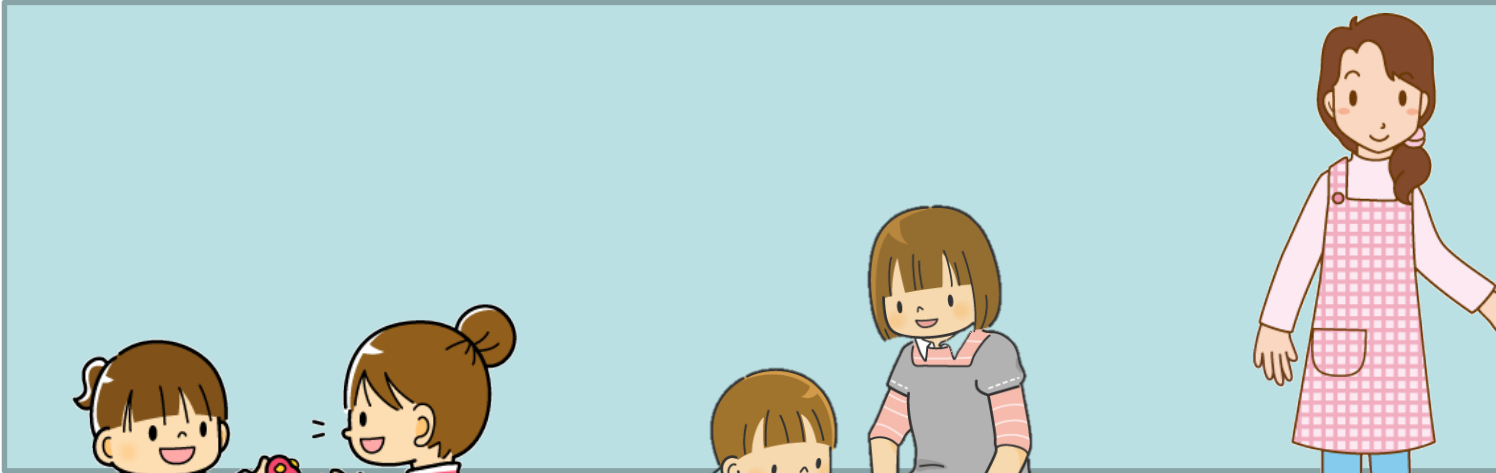
Sunの療育について

- 1年間
- 1回1時間、概ね月2回、年間20回程度
(個別面談を含む)
- 保護者同伴
- 保護者研修 月1回(年間10回程度)
- マンツーマンの個別指導
- 定員 64名(うち小学生は8名まで)

個別療育とは

- こどもの発達にあわせた支援
- こどもに理解しやすい環境の調整
- 視覚的な手がかり等を積極的に用いて実施
- スタッフがこども一人ひとりについて対応
- チーム体制で支援

マンツーマン対応



チームアプローチ

- 療育後すぐに振り返り

- 翌日全員で振り返り



療育週間プログラム(R3年度予定)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00～ 11:00	療育	療育	療育	保護者 研修	療育
11:30～ 12:30	療育	療育	療育	学習会 など	療育
13:30～ 14:30	療育	療育	療育	療育	療育
15:30～ 16:30	療育	療育	療育	療育	療育

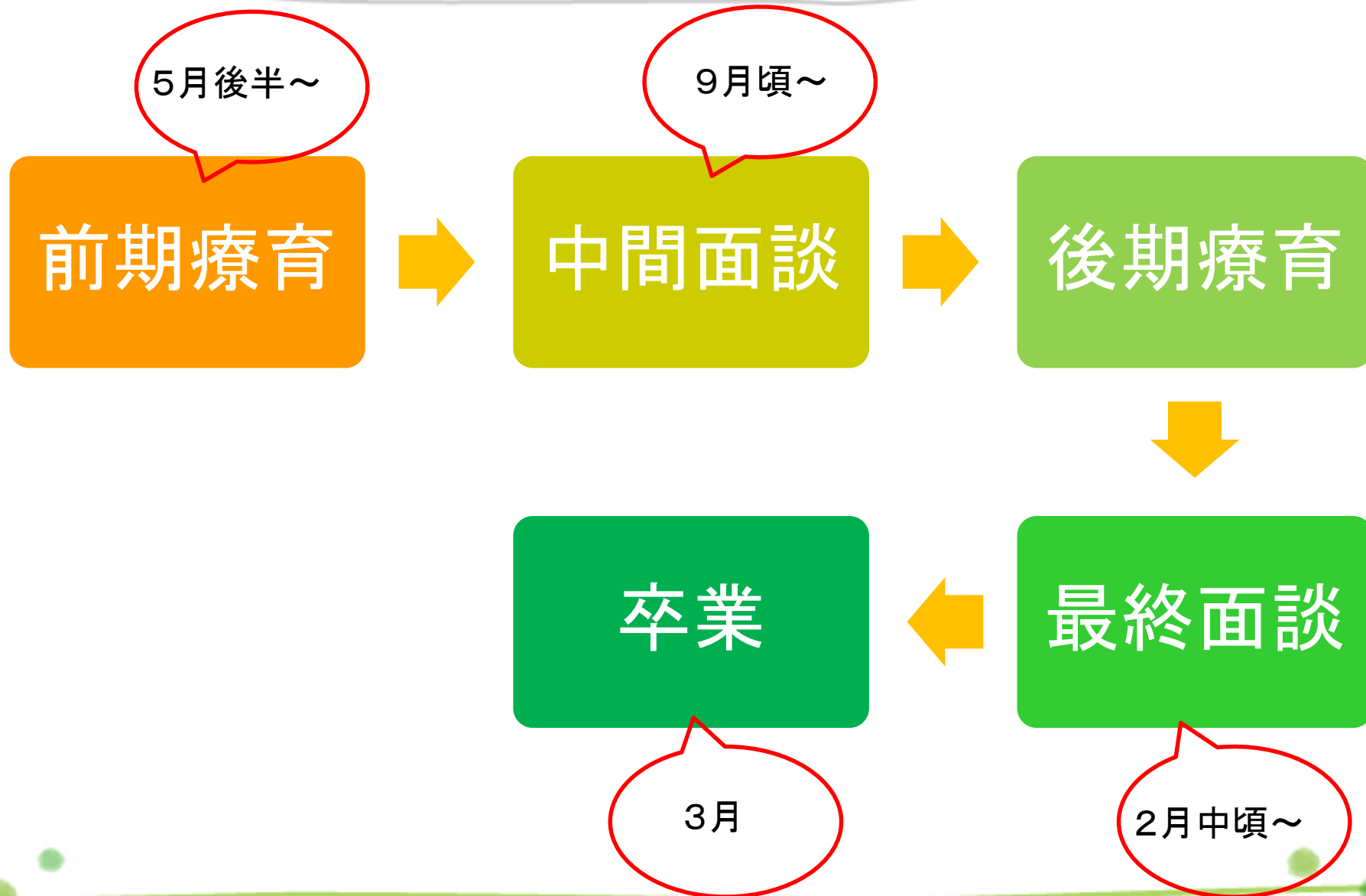
個別支援計画 作成

- 発達の評価⇒行動観察、発達検査など
- 保護者からの情報⇒
 - 希望調査票・生活調べ表・生活地図
 - 好き嫌い調べ・生活スキルチェック表等
- 個別支援計画(案)を作成
- 保護者との面談
- 個別支援計画を作成
- 療育開始⇒再評価

療育計画

- 個別支援計画に基づいて、1回ずつ療育計画を作成し実施
- 療育計画作成にあたっては、療育終了直後にスタッフ間で振り返りを実施
- また、家族との連絡帳や療育中に近況を伺うことで、療育計画に反映

療育の流れ



療育は2本立て

- こどもへの支援
- 保護者への支援

こどもへの支援

- 日常生活のための支援
 - スケジュールの活用、日常生活動作
- 社会生活のための支援
 - コミュニケーション支援、学習支援、
 - ソーシャルスキルトレーニングなど
- 余暇に関する活動支援
- その他

具体的には・・・

- ・ こどもが、何に困っているかを考える
- ・ 困っていることへの対処の方法を教える
- ・ 得意なことを伸ばし自信に結びつける
- ・ 特性のために苦手としている部分へのアプローチ
- ・ 余暇の開拓
- ・ 自立を目指す

保護者への支援

協働

- 福祉、生活などの相談
- 家庭での対応方法などの提案
- 健康についての相談

具体的には・・・

- ・ 特性を踏まえたこどもが理解しやすい伝え方、環境調整の方法を学ぶ
 - （定型発達と同じやり方では、うまく行かない）
 - ☆一人一人違う
 - ☆こどもの苦手を知る
- ・ こども一人ひとりに合わせた対応方法を考える
 - ☆教え方などの工夫を一緒に考える
 - ☆生活の中の困っていることへのアドバイス

保護者研修

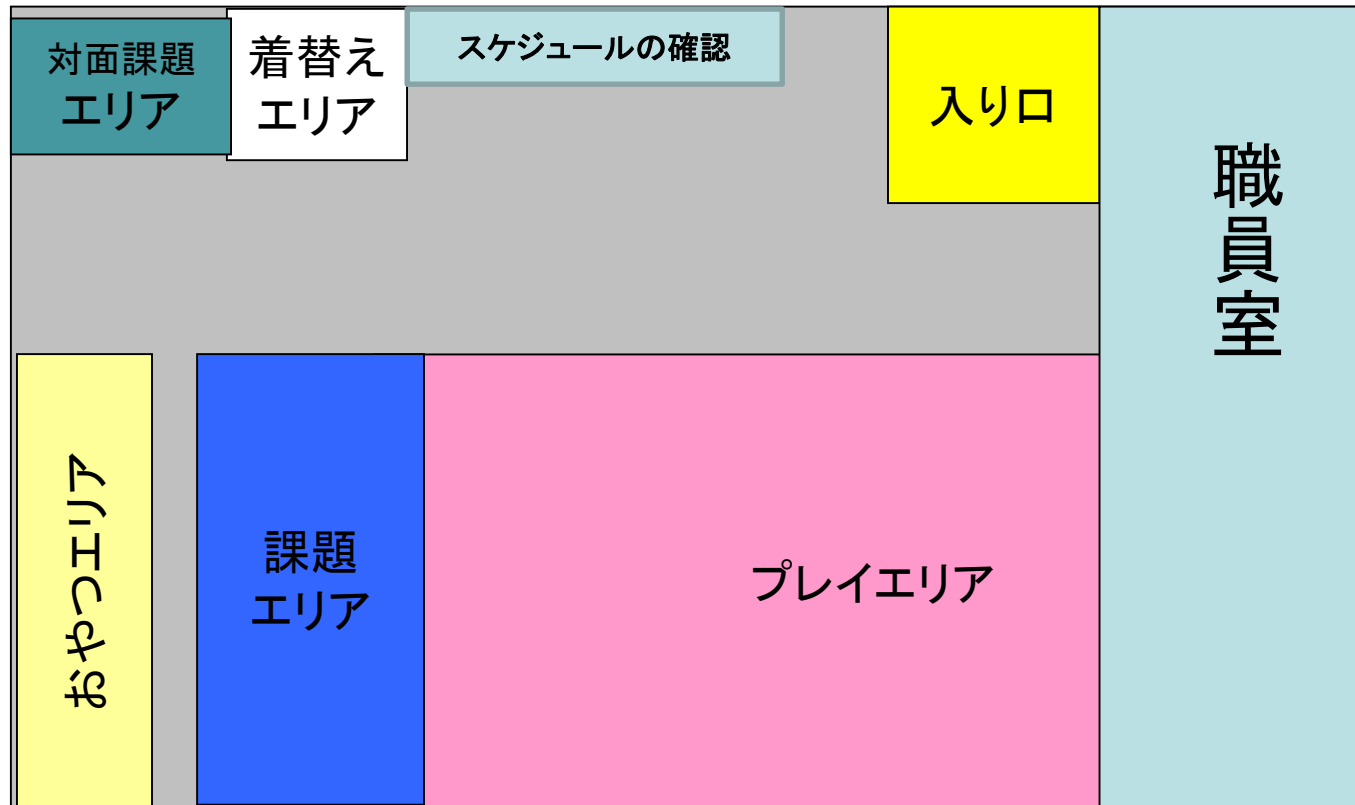
R2年度

月	テーマ
6月	障がい特性の理解
7月	子どもたちの行動をみて目標設定をしよう
8月	進路に向けて ゲスト講師
9月	コミュニケーション
10月	構造化と支援ツール
11月	作ってみよう
12月	サポートブック作り
1月	親ごころと子どもの世界～ ゲスト講師
2月	行動の理解と対応
3月	実践報告会

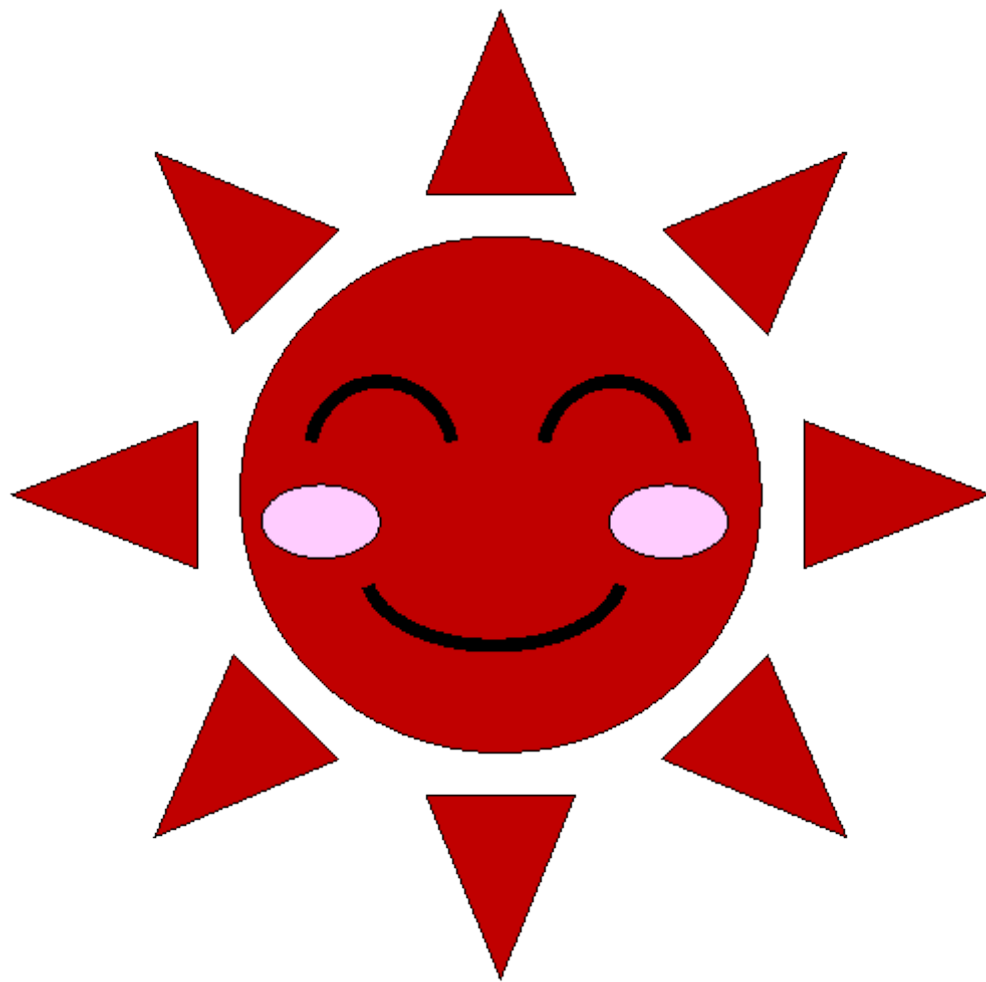
構造化

- 自分の周りの世界や情報を理解して、安心して自主的に行動したり、学習や生活することができるよう、時間の流れや活動内容等を、その人に合わせてわかりやすく示す方法
- 場所の意味を知らせる(物理的構造化)
- 状況の推移を知らせる(スケジュール)
- 内容や長さを知らせる(ワークシステム等)
- 注目して欲しい所を知らせる(視覚的構造化)

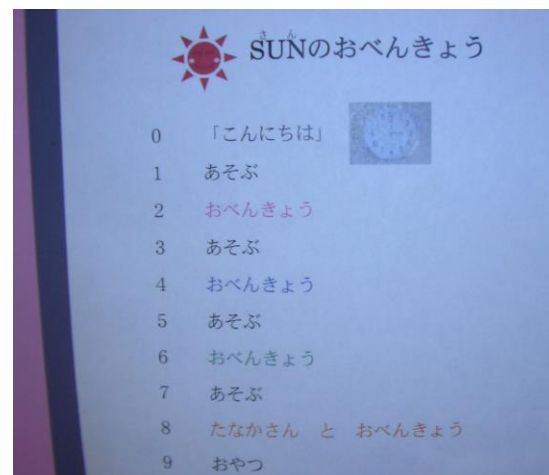
Sun療育室



Sunのロゴマーク



スケジュール



課題エリア



課題エリア



ワークシステム

①カードを取る

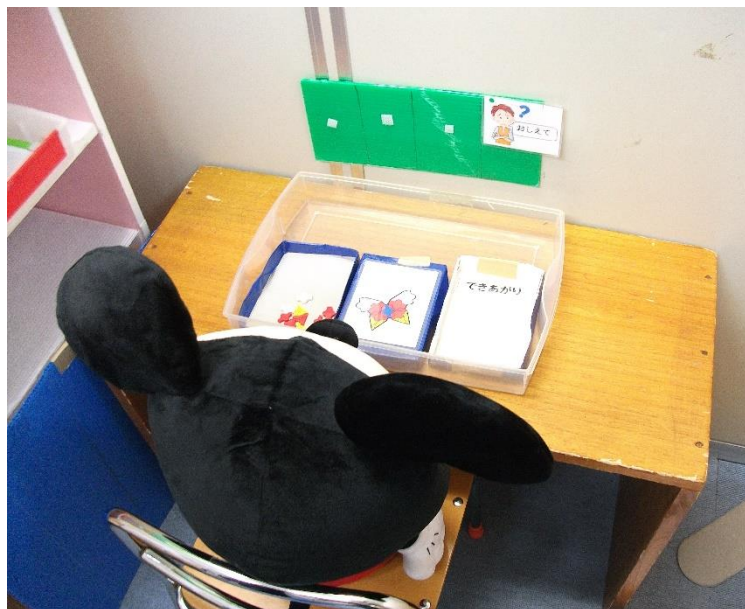
③机の上
でお勉強

②カードを
入れて課題
をとる

④終了箱



自立課題(一人でおべんきょう)



対面課題

指示をきいて課題をする



遊びエリア





PECS (絵カード交換式コミュニケーションシステム)

(Picture Exchange Communication System)



コミュニケーションの練習



順番交代の練習

手順書や足型で何をしたらよいのかわかりやすくしています。



洗面（はみがき）



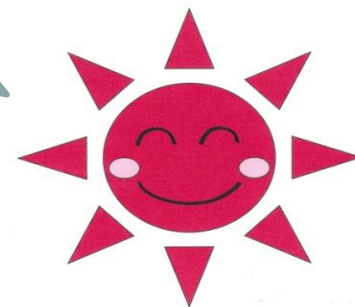
Sunの療育

- Sunの療育は保護者との協働
- 療育の般化
 - Sunで習得したことを色々な場所で発揮できるように
- 発達の初期に基礎を築くことが大切

こどもの未来のために
今、できることを一緒に
考えて行きませんか？

見学を希望される方については、
16:30以降の時間帯で
療育室を見ていただくことができます。
電話にてお問い合わせ下さい。

こども発達支援センターSun利用申
込は、1月19日までに提出お願いい
たします。



ありがとうございました。

おわり